

はじめに

多くの都道府県の公立高校入試で出題される作文問題は、配点が非常に高く、作文問題の出来不出来が合否に大きな影響を与えます。この本は、そのような難敵「作文」を攻略するための「タクティクス」(戦術)を身につける目的で編集されています。

スポーツや楽器演奏と同様に、まずは基本的な型を身につけることから始めましょう。この本は、基本的な型を身につけるための工夫がされています。

本書の構成

この本は、次のように構成されています。

▼基本戦術編

文章の基本単位である文を正しく書くための反復練習を行います。

▼実戦演習編

よく出題されるパターンの問題を扱い、作文の型を身につけます。例題には丁寧な指針があり、その指針にそって作業を進めれば、原稿用紙が埋まるようになっていきます。

■エクストラステージ

複数の資料を読みとり、自分の考えを述べる問題です。資料の情報量も指定された字数もともに多く、手応えのあるものになっています。

もくじ

基本戦術編	1	正しい文を書く	2
	2	正しくつなぐ	8
	3	文章を型に当てはめて作る	14
	4	原稿用紙を正しく使う	20
実戦演習編	5	表やグラフを見て書く	26
	6	ポスター・イラストを見て書く	32
	7	文章を読んで書く	38
	8	韻文を読んで書く	44
	9	会話文を読んで書く	48
エクストラステージ	その1		54
エクストラステージ	その2		56

エクストラステージの後に、解答解説がついています。

会話を読んで書く

例題

問題

次の会話を読んで、「制服」についてのあなたの考えを三百字以内で書きなさい。また、そう考える理由を二つ以上入れて書きなさい。(題名・氏名は書かずに、一行目から書くこと。)

Aさん 制服があるのとなないと、どちらがいいと思う？

Bさん 制服があると、その日に何を着ていくか悩まなくていいから便利だよ。特に朝は、時間がなくて急いでいるから、毎日、服の組み合わせをあれこれ考えなくていいのは楽だね。

Aさん だけど、制服って、同じ学校の人みんな同じ服を着ていて、個性が見えてこない気がするなあ。周りの人から見ても、〇〇学校の生徒としか見えないじゃない。

Bさん 私は、学校の一員としての自分というのも個性の一つだと思うよ。それに、制服を着ると、その学校の一員としての自覚や誇りが持てて気が引き締まってしまうと思う。会社やお店などでも、制服を採用しているところがたくさんあるじゃない。その制服を着ている人たちは皆、その会社やお店の一員であることに誇りを持って働いているんだと思うよ。

Aさん でも、学校の制服だと、女子はスカートって決まっているのも、私はあまり好きじゃないな。

Bさん 確かに、それはそうだね。でも、最近では女子でも男子と同じようにパンツの制服を着てもいい学校が増えてきているって聞いたことがあるよ。制服のデザインを何通りかにして種類を増やしたりしている学校もあるんだって。中には、夏用にひざ丈パンツの制服を採用している学校もあるらしいよ。制服もいろいろな考えを取り入れて、少しずつ変わってきているみたいだよ。

解説

手順1 会話文の話題(テーマ)をとらえる

まず、提示された会話文が何について話されているものかを読み取ろう。

▽ここでは、「制服があるのとなないと、どちらがよいか」という切り口から、制服の良い点と悪い点について会話している。

やってみよう

次の文の「 」に入る言葉を書こう。

話題になっているのは、制服の「 」と短所。

手順2 話者それぞれの主張をとらえる

話者それぞれがどういった立場から発言しているかをとらえよう。

やってみよう

AさんとBさんの主張と合うものを――線で結ぼう。

Aさん ・制服はある方がよい。

Bさん ・制服はない方がよい。

手順3 話者それぞれの主張の根拠をとらえる

話者それぞれが、何を根拠として主張をしているのかをとらえる。

やってみよう

Aさん、Bさんそれぞれの意見と、その意見の根拠を整理した次の「」に入る言葉を書こう。

Aさん

「」と考える根拠

・同じ学校の人がみんな同じ服を着ていて、「

」が見えない。

・周りの人から見ても、〇〇学校の生徒としか見えない。

・女子はスカートと決まっているのも好きではない。

Bさん

「」と考える根拠

・毎日何を着ていくか「

」。

・その学校の一員としての「

」や「

」が持てる。

・制服のデザインを何通りかに増やしている学校もある。

手順4 自分の考え（意見・立場）を決める

どちらの考えを支持するか決めるためには、その理由をはっきりさせる必要がある。自分の納得できる理由を挙げることができて初めて、自分の考えを決めることができる。

▽ここでは、「制服がない方がよいという立場」「制服がある方がよいという立場」のどちらの立場に立って書くか決めるが、会話文で出てきた理由以外に、自分なりの理由をあげてから決めよう。

やってみよう

① 「制服がない方がよい」という立場で、その理由をあげてみよう。

② 「制服がある方がよい」という立場で、その理由をあげてみよう。


手順5 相手の考え（意見・立場）に反論する

どちらの考えを支持するか決めたら、自分と反対の意見に対して反論していく形をとると、理由を示しながら自分の考えを書くことができる。

やってみよう

自分とは反対の意見に理由を明確にして反論してみよう。

Aさんの意見に対しての反論



Bさんの意見に対しての反論

bioRxiv preprint doi: <https://doi.org/10.1101/000000>; this version posted January 1, 2016. The copyright holder for this preprint (which was not certified by peer review) is the author/funder, who has granted bioRxiv a license to display the preprint in perpetuity. It is made available under aCC-BY-NC-ND 4.0 International license.

手順5 自分の意見をまとめてみよう。(ここでは双括弧で書いてみる。)

- ①自分の考えを簡潔に書く。
- ②自分と反対の意見に対して反論する。
- ③「制服がない方がよい」と考えるなら、制服があることには、どんな短所があるか書く。
- ④「制服がある方がよい」と考えるなら、制服がないことには、どんな短所があるか書く。」
- ⑤まとめる形で、もう一度自分の考えを書く。

やってみよう

どちらかの立場に立ち、自分の考えを書こう。

●私は、
立場の表明
と思う。

原稿用紙に清書しよう

自分の立場を決め、**手順5**の「やってみよう」の文を使って、三百字以内で清書をしよう。

● 自分と反対の意見を取り上げる。

□

さんのように、

という意見もあるが、

相手の意見に反論する形で自分の意見を書く。

● また、制服が

自分の意見とは反対の状況だった場合の短所を取り上げる。

□

● しかし、制服が

逆の場合には、どんな長所があるか書く。

□

● このような理由から、私は、

□

もう一度自分の主張を繰り返す。

□

と思う。

演習問題

『次の会話文を読んで、「夫婦別姓」について、賛成・反対のどちらかの立場で、その理由を二つ以上挙げ、三百字以内で書きなさい。(題名・氏名は書かずに、一行目から書くこと。)』

木村 結婚しても仕事を続ける女性が増えている中で、戸籍上での夫婦別姓を認めるかどうかが話題になっていますね。

山田 仕事をしている女性にとっては、長い間使ってきた姓が変わると、仕事上で不都合が生じると言って、戸籍上は夫の姓になっているにも関わらず、仕事の上では旧姓を使い続けている人が多くいるそうです。戸籍上の姓と仕事上の姓が違うのは、それはそれで面倒なので、私は夫婦別姓の制度に賛成です。

木村 私は、夫婦は同じ姓を共有してこそ連帯感が生まれると思うので、夫婦別姓を認めることには反対です。

山田 しかし、姓を相手に合わせるのは相手の従属物になるようで心理的に抵抗のある人もいます。その点については、どう思いますか。

木村 心理的に抵抗がある人もいるかもしれませんが、逆に相手と同じ姓になることに喜びを感じる人もいます。結婚して一つの家庭を作るのだから、共通の姓をもつのが自然だと私は考えます。

山田 それなら、夫婦同姓、夫婦別姓のどちらかを選ぶ「選択制夫婦別姓」なら問題ないと思います。

木村 日本という一つの社会の中で、戸籍上、同じ姓の夫婦もいれば異なる姓の夫婦もいるというのは複雑です。それに、夫婦別姓を選んだ夫婦の子どもは、どちらかの姓を名乗ることになるので、それもまた問題だと思っています。

山田 社会制度の中で多少、複雑になっても、個人個人の気持ちがいちいち反映された制度の方がよいと思います。子どもの問題は個々の家庭の問題なので、その家庭の中できちんと話し合えばよいと思います。

手順1…会話文の話題(テーマ)をとらえる

「夫婦別姓」「選択制夫婦別姓」を□で囲んでみよう。

手順2…話者それぞれの主張をとらえる

「夫婦別姓」について賛成か反対かがわかる部分に——線を引こう。

手順3…話者それぞれの主張の根拠をとらえる

山田さん、木村さんの主張の根拠となる部分に——線を引こう。

手順4…自分の考え(意見・立場)を決める

自分は「夫婦別姓」に賛成か反対かを決め、反論の準備として、自分とは反対の意見の根拠となっている部分を書き出してみよう。

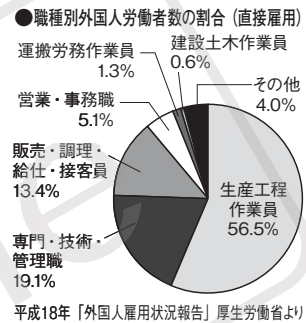
私は「夫婦別姓」には「
」だ。

*自分とは反対の意見の根拠

手順5…自分の考え(意見・立場)を書く

手順4の自分とは反対の意見の根拠に反論してから、自分の意見を書いてみよう。

② 次の資料と会話文を読んで、「単純労働に就く外国人労働者の受け入れ」について賛成・反対のどちらかの立場に立ち、四百字以内の三段落構成で書きなさい。（題名・氏名は書かずに、一行目から書くこと。）



田中 日本では、専門技術を必要としない職種に就くために外国人が入国することは認められていないにも関わらず、外国人労働者の圧倒的な多くが製造業の生産過程、つまり単純労働に就いていることがわかります。

山下 日本人だけで人手が足りないのなら、特に技能をもっていないくても外国人を受け入れてもよいのではないのでしょうか。

田中 本当に人手が足りないのでしょうか。仕事を探している日本人はいても、彼らが製造業の単純労働を避けていることが人手が足りないことの原因ではないでしょうか。外国人労働者の受け入れは、日本人が敬遠するようない大変な仕事を外国人に押しつけようとしていることのように見えます。だから、私は単純労働のために外国人を受け入れることには反対です。外国人本人が、それでも収入を得るために働きたいと望んでいるのなら、その仕事に就くことは問題ないと思います。雇い入れた外国人がきちんと働いてくれさえすれば、実際に人が集まらず困っている会社にとって国籍は関係ないと思います。

田中 もう一つの問題は、習慣や価値観の違いから、地域社会でトラブルになる可能性があるということです。

山下 確かに、習慣や価値観の違いが人たちが増えれば、いくらか問題は出てくるかもしれませんが。しかし、それを解決しようと努力することが国際化には必要です。つまり、幅広く外国人労働者を受け入れることは、異文化理解を深め、日本がより国際化する一步になると思います。

手順1…会話文の話題（テーマ）をとらえる

「単純労働に就く外国人労働者の受け入れ」がテーマであることをとらえよう。

手順2…話者それぞれの主張をとらえる

田中さんと山下さんの主張と合うものを――線で結ぼう。

田中さん・
山下さん・
・単純労働に就く外国人労働者の受け入れに反対
・単純労働に就く外国人労働者の受け入れに賛成

手順3…話者それぞれの主張の根拠をとらえる

田中さん、山下さんの主張の根拠となる部分に――線を引こう。

手順4…自分の考え（意見・立場）を決める

自分は「単純労働に就く外国人労働者の受け入れ」に賛成か反対かを決め、反論の準備として、自分とは反対の意見の根拠となっている部分を書き出してみよう。

私は「単純労働に就く外国人労働者の受け入れ」には――
*自分とは反対の意見の根拠

手順5…自分の考え（意見・立場）を書く

手順4の自分とは反対の意見の根拠に反論してから、自分の意見を書いてみよう。

③ 次の文章と会話を読んで、「写真」についてのあなたの考えを、経験をふまえて四百字以内で書きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(外山滋比古「人生を愉しむ知的時間術」より)

山口 メモを取ることに一生懸命になっていると、肝心の話が頭に入らないと

いうのは、写真を撮ることに熱心になりすぎて、実際に見た風景が心に残っていないことに似ています。私は、実際に自分の目で直接見る方が心に残るので、写真は最小限しか撮らないことにしています。

秋田 私は、なるべく写真を撮るようにしています。そのとき目で見ていくら感動しても記憶は時間と共に薄れてしまうからです。

山口 記憶が薄れるからと写真を残すことよりも、そのときに目でしっかり見て感動を心に刻む体験をする方が、有意義ではないでしょうか。

秋田 写真を撮っているからといって心に残らないと考えるのは間違っています。誰でも感動しながらシャッターを押しているはずで

山口 でも、つい、撮影することだけに夢中になっていませんか。一つの対象にじっくり向き合うためには撮影は最小限にするべきだと思います。

手順1…会話文の話題(テーマ)をとらえる

ここでは、「メモ」でなく、「写真」がテーマであることをとらえよう。

手順2…話者それぞれの主張を正しく理解する

山口さんと秋田さんの主張と合うものを――線で結ぼう。

山口さん ・なるべく写真を撮るようにしている。

秋田さん ・写真は最小限しか撮らない。

手順3…話者それぞれの主張の根拠をとらえる

山口さん、秋田さんの主張の根拠となる部分に――線を引こう。

手順4…自分の考え(意見・立場)を決める

自分は「写真を撮ること」についてどう考えるか決め、反論の準備として、自分とは反対の意見の根拠となっている部分を書き出してみよう。

私は、写真は――

――と思う。

*自分とは反対の意見の根拠

手順5…自分の経験をふり返り、自分の考え(意見・立場)を書く

自分の経験をふり返って、**手順4**の自分とは反対の意見の根拠に反論してから、自分の意見を書いてみよう。